

初めての方はご覧ください

β -SGR Electric Focusing System(Arkab)

セミオートマチックフォーカスシステム

撮影アドイン/設定ガイド

BitRan

MaximDL

OUTprocess

UNVclicker

UNVkeysend

SGR Project.

Copyright 2010 Daiichi Co. Ltd.

<http://sgr.dai1.jp>

■ β -SGR の起動

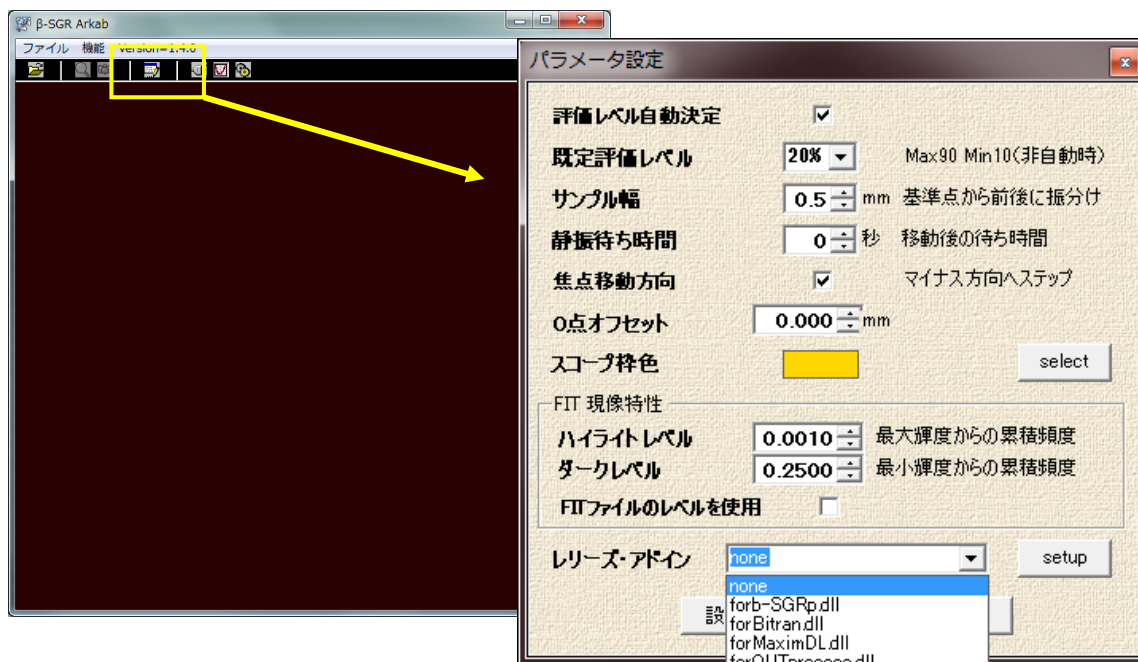
【 β -SGR ソフトウェアの起動】

- ・モータードライブ・ユニットを接続して、ショートカット又は、スタートメニューから起動してください。



【パラメータ設定】

- ・パラメータ設定を開き、撮影アドインを選択します。



BitRan

ビットラン BJ シリーズ撮影アプリ専用 撮影操作連携アドイン
対応アプリ: ビットラン社 BJ シリーズ専用

MaximDL

MaximDL 専用 撮影操作連携アドイン
対応アプリ: MaximDL によって撮影する全てのカメラ

OUTprocess

フリーソフト UWSC45 を用いた汎用アドイン URL: <http://www.uwsc.info/>
対応カメラ: ほとんど撮影用アプリに対応しますが、少し不便な場合もあります。

UNVclicker

撮影用アプリケーションのウィンドウをキャプチャーして、目的のボタンをソフト的に押します。
対応アプリ: NILImage、SBIG/CCDOPS、MaximDL、NikonCapter、CanonCapter 等、に対応

UNVkeysend

撮影用アプリケーションのウィンドウをキャプチャーして、ショートカットキーコードを送信します。
対応アプリ: EOS Utility 等の特定のキーコードによって撮影操作ができるアプリに対応します。

BitRan

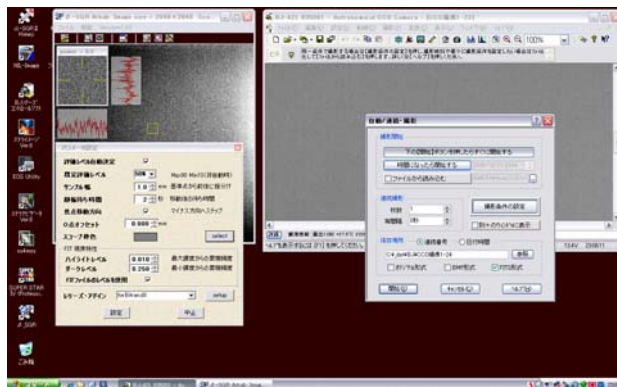
【ビットラン撮影設定】

【解説】

この連携ソフトは、撮影によって、

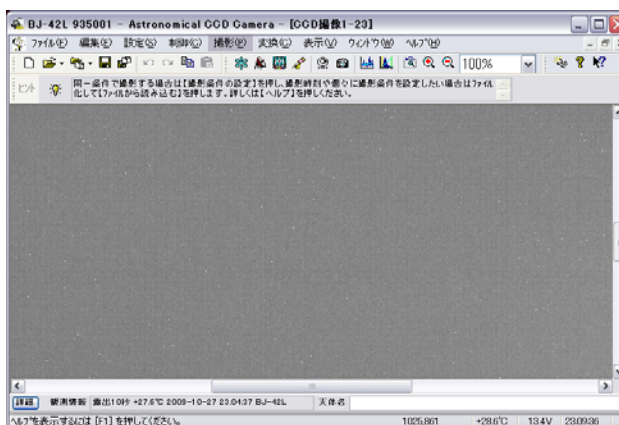
- ① CCD アプリに Ctrl+L を送信し、自動/連続・撮影を開きます。
- ② 自動/連続・撮影に撮影開始に撮影開始キーを発行します。
- ③ 撮影されたファイルは、指定フォルダに保管されます。

★このファイルをアプリが読み取りフォーカス操作を行います。



【CCD カメラ・アプリ】

- ① CCD カメラ撮影アプリを起動



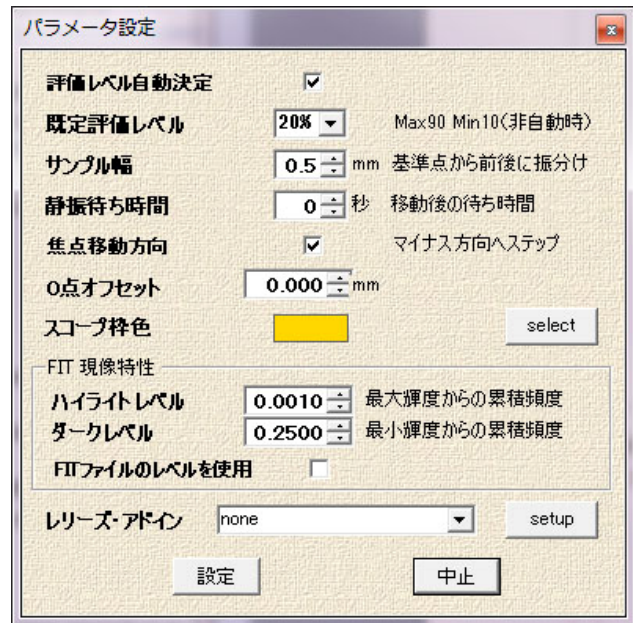
【自動/連続・撮影】

- ① 自動/連続・撮影を開く
- ② ファイル形式を Fts に設定
- ③ ファイル名を連続に設定
- ④ 撮影枚数を1枚に設定
- ⑤ 露出時間を設定(1~10秒程度)
- ⑥ 保存フォルダを設定
- ⑦ 開始ボタンにて撮影
- ⑧ 自動/連続・撮影がクローズする



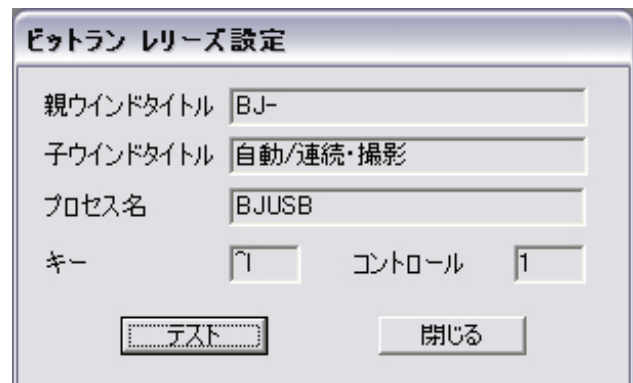
【撮影アドインの設定】

- ①forBitran.dll を開く
- ②setup



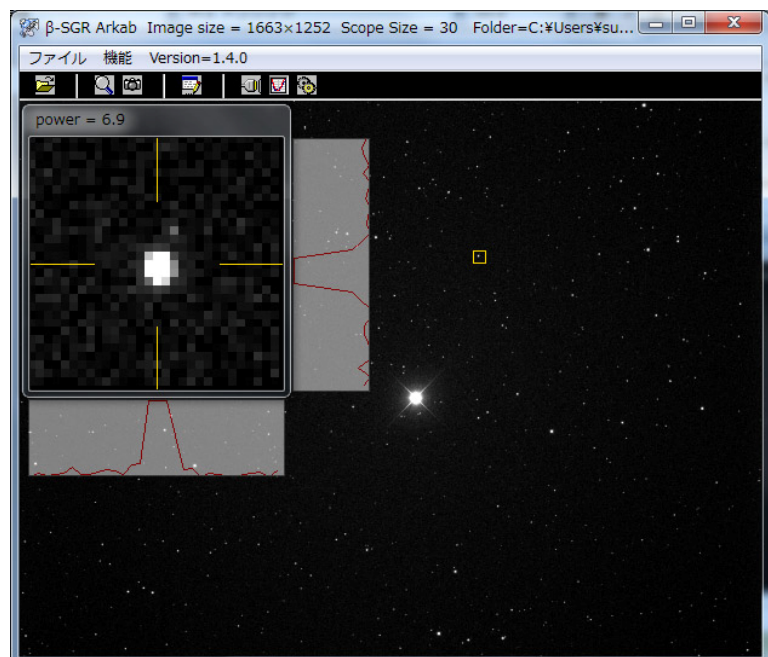
【テストボタンにて撮影テスト】

- ①既に BJ 専用に設定していますので、テストボタンで、露出動作を確認します。



【CCD カメラ・アプリ】

- ①撮影したファイルを β -SGR) で開き、サンプル星を選択します。



MaximDL

【MaximDL control setting】

- ① forMaximDL を選択
- ② setup
- ③ フォルダ名を入力
- ④ ファイル名を入力
- ⑤ ビニングを設定
- ⑥ Accept



【撮影操作】

- ・電動フォーカス I/F の自動操作パネルの撮影ボタン操作によって、自動的に MaximDL を起動し、指定されたフォルダに撮影した画像が保存されます。
- ・または、既に起動した MaximDL に対して撮影操作を行い、指定されたフォルダに撮影した画像が保存されます。

注) MaximDL 起動後に β -SGR を起動する場合と、 β -SGR によって MaximDL を起動する場合によって、連結操作時のエラーの状況が異なる場合があります。撮影ボタンによって操作した場合に、誤動作が少ない手順をお試しください。

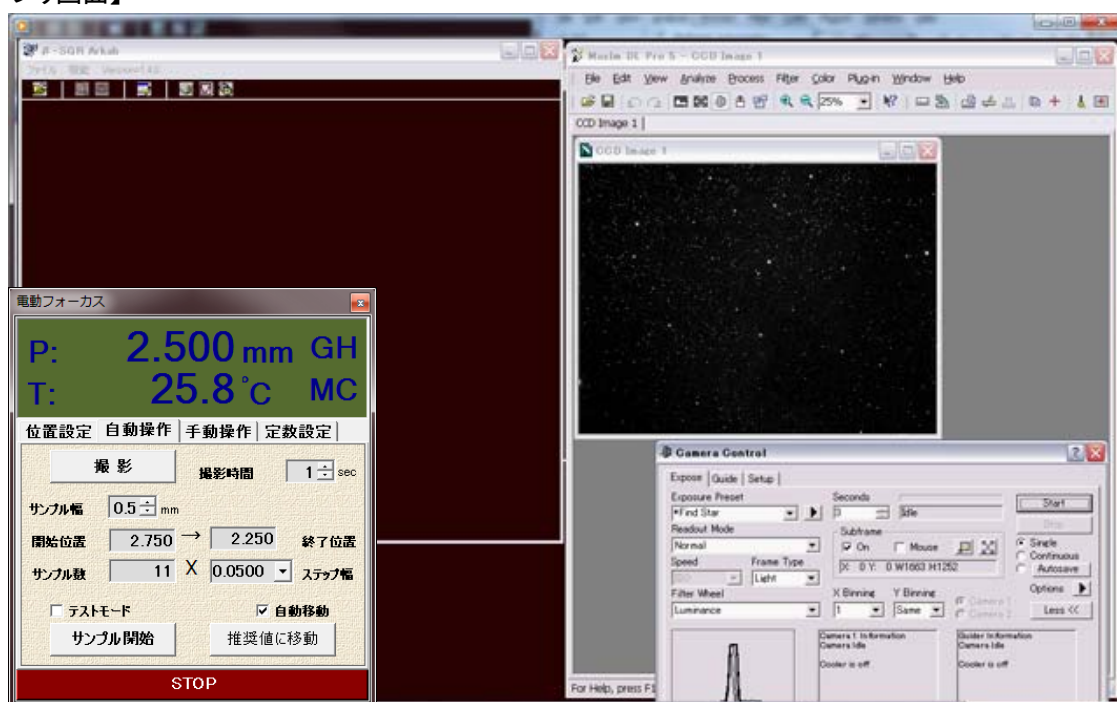
- ・撮影時間(露出時間)は、自動操作パネルの撮影時間に設定します。

注) 自動操作パネルの撮影ボタンによって操作し撮影する場合、ファイル、ビニング及び露出時間は、 β -SGR アプリの設定によって動作しますので、MaximDL の設定は無視されます。

☆この操作は、基本的に画面全面を撮影し、フォーカス対象のサンプル星を選んでいただく操作になります。フレーミング等の MaximDL の機能を使用する場合は御使用いただけませんので、「UNVclicker」をご使用ください。

参考: MaximDL の連携操作は、<http://www.a-sgr.net/b-sgr/index.html> の動画ページでも紹介していますので、ご覧ください。

【アプリ画面】



OUTprocess

【OUTprocess control setting】

「説明」

- ・複雑な撮影操作をカバーする目的で設定しているアドインです。
- ・ここでは、UWSC45(Windows 自動化ソフト)を使用しています。
- ・強力なスクリプト言語によって複雑な操作が可能です。

「設定」

- ① Exe image に UWSC.exe を設定する
- ② Parameters に * * *.UWS スクリプトを設定します。
- ③ Test ボタンにてプロセスの実行の確認をします。
- ④ OKならば、Accept

「ご注意」

この機能は、コントロール画面が最前面にあり、アクティブであることが前提ですので、非アクティブ場合は、コントロール不可となります。また、マウスを占領しますので、シーケンス中のマウス操作はできません。



+



【UWSCについて】

「お願い」

- ・ここで推奨している UWSC45(Windows 自動化ソフト)は、umiumi さんのフリー版を紹介させていただいています。ダウンロード等は、使用者の責任で、お願いいたします。

「機能」

- ・マウスとキーボード入力を記録して再生する事ができます。(スクリプト形式ですので自由に編集する事ができます)
- ・強力なスクリプト言語によりアプリの操作ができます。
- ・スケジュール機能により指定時間や指定ウィンドウが現れた時などの指定ができます。

「ダウンロード」

<http://www.uWSC.info/download.html>

UNVclicker

【Universal clicker settings】

・撮影アプリケーション等のコントロール画面をキャプチャーし、ボタン操作等をβ-SGRが行います。

- ① 撮影用アプリケーションを起動し、撮影準備（保存フォルダ、ファイル形式、その他）の設定をします。
- ② 撮影アドインで、「forUNVclicker.dll」を選択します。
- ③ Window の search にて画面をキャプチャーして、撮影アプリ画面を選択します。
- ④ Control の search にて画面をキャプチャーして、撮影ボタンを選択します。
- ⑤ test ボタンにて、撮影動作の確認をします。
- ⑥ OKならば、「Accept」します。

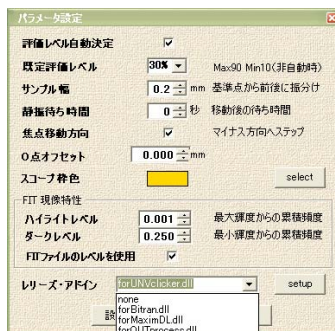


【NikonCaptureNX2 による設定例】

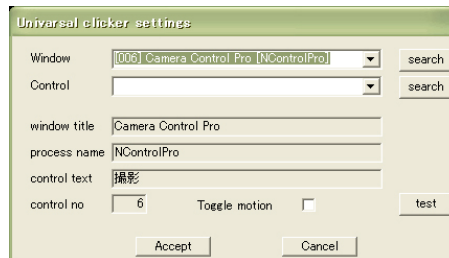
Camera Control Pro



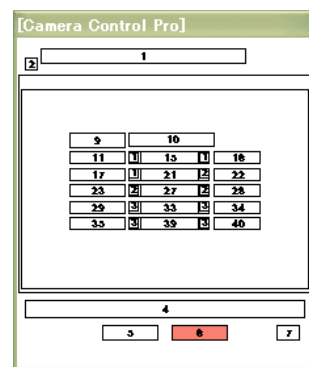
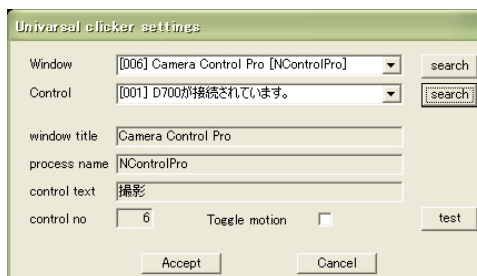
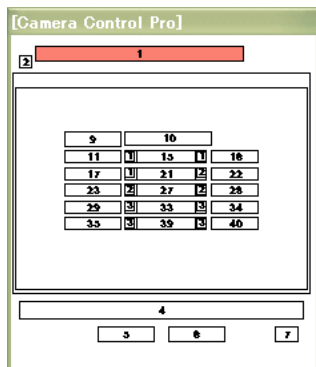
forUNVclicker.dll を選択



Search & Camera Control Pro 選択



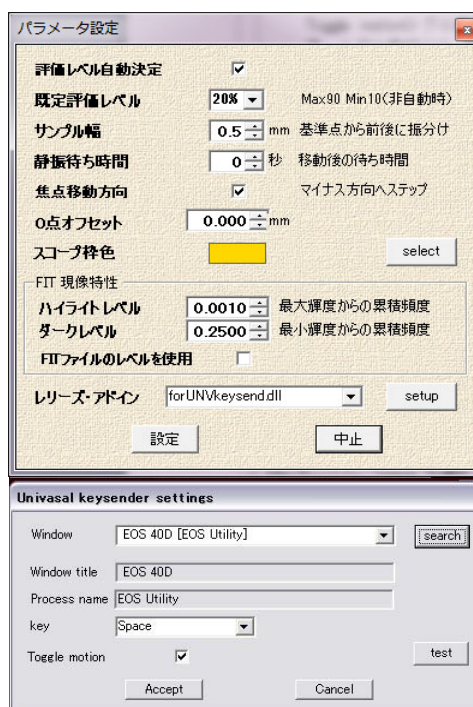
Search & 撮影ボタンを選択



UNVkeysend

【Universal key sender settings】

- ・ 撮影アプリ等のコントロール画面をキャプチャーし、キー操作をβ-SGR アプリが行います。
- ① 撮影用アプリケーションを起動し、撮影準備(保存フォルダ、ファイル形式、その他)の設定をします。
- ② 撮影アドインで、「forUNVkeysend.dll」を選択します。
- ③ Window の search にて画面をキャプチャーして、撮影アプリ画面を選択します。
- ④ key の操作キーを選択します。
Toggle motion(トグル動作)の選択をします。
トグル動作とは、撮影動作において撮影開始にON、終了にONする動作を言います。
- ⑤ test ボタンにて、撮影動作の確認をします。
- ⑥ OKならば、「Accept」します。



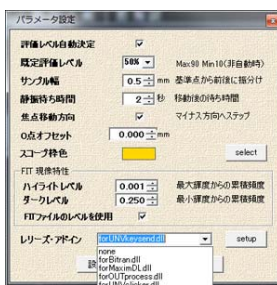
【EOS Utility・(EOS 40D) による設定例】

EOS 40D 起動

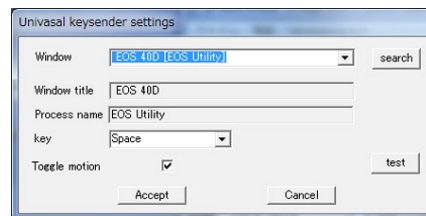
- ・ BULB 設定
- ・ ISO 設定
- ・ 画像設定 (例:L 画像)
- ・ フォルダ設定
- ・ ファイル名設定
- ・ その他



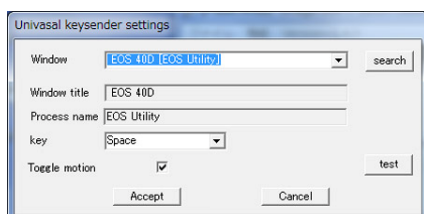
forUNVkeysender.dll を選択



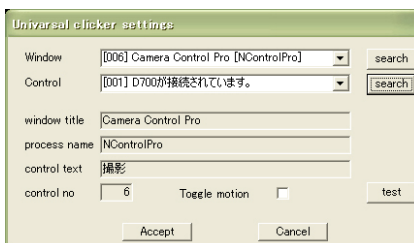
Search & EOS 40D(EOS Utility) 選択



Key ボックスに“Space”を選択 Toggle motion を選択

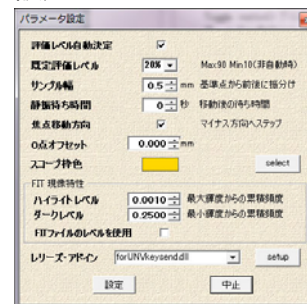


Search & 撮影ボタンを選択



・test ボタンにて撮影動作試験

設定



注)この設定の場合、撮影時間(露出時間)は、自動操作パネルの設定に従います。

以上